

# 令和5度 事業報告

## 施設名 カーサマリモ

### 1 総 括

前年度は、令和4年度末に長期入院を経ての退所者が1名ありましたがシフト維持に力を注ぐ形となってしまったため共同生活援助新規利用者を迎えることが困難な状況が継続していましたが6月、9月で正規職員を2名増員することができ9月に入り共同生活援助新規利用者迎える体制が整い13床満室となりました。

短期入所では、シフト維持に力を注ぐ形となってしまったため、電話による広報活動を行いました但し新規獲得に至っておらず、継続的なご利用は1件に留まりましたが、他事業所との連携により12月にロングステイの受け入れができました。

職員体制においては、4月より正規職員1名の長期離脱や非常勤職員の雇用が進まなかったこと等も重なりシフト維持に力を注ぐ状況が継続していましたが、6月、9月で正規職員を2名増員することができBBQやクリスマス企画等利用者の方々に季節を感じられるような装飾やイベント等を行う事ができました。しかし12月末から正規職員2名の急な離職により再びシフト維持に力を注ぐ形となってしまいました。

### 2 重点目標の取り組みと来期の課題

#### 1) 地域移行への取り組み強化

##### 【目標】

地域移行への取り組みの基盤を整備し、地域移行支援を行います。

##### 【取り組み状況と結果】

##### ・地域移行ニーズの把握について

法人内事業所の入所施設（特別養護老人ホームを除く）のご利用者の地域移行ニーズを把握しました。結果は男性が11名（清瀬療護園1名、清瀬喜望園10名、カーサマリモ2名）女性が7名（清瀬療護園1名、清瀬喜望園6名）であり、その中で共同生活援助を希望している方は8名でした。

##### ・関係事業所との連携基盤づくりについて

清瀬療護園相談支援事業所と地域移行プランの共有を図りカーサマリモ内での取り組み方法の協議を行いました但し、近隣市等の関係事業所への広報活動は未実施となります。

##### ・地域移行支援について

未実施となります。

##### 【今後の課題】

##### ・地域移行ニーズの把握について

新たなご利用者の地域移行ニーズの把握やニーズ変更等の把握が出来るよう引き続き法人内事業所と連携を図っていきます。

##### ・関係事業所との連携基盤づくりについて

カーサマリモの役割の一つである地域移行への取り組みを推進する必要がありますが、現在地域移行の際に連携を図っている関係事業所が多くないので、令和6年度では近隣市等の関

係事業所への広報活動を行います。

- ・地域移行支援について

引き続きカーサマリモご利用者の地域移行ニーズに応じて関係機関と連携を図り取り組んでいきます。

## 2) 安定的な運営基盤の確立

### 【目標】

- ・共同生活援助は95%、短期入所は80%の稼働率を達成します。
- ・安定した職員体制作りを行います。

### 【取り組み状況と結果】

- ・新規受入及び稼働率について

共同生活援助につきましては前年度の3月に1名の退所がありましたが、職員体制が整っておらず9月の受け入れとなり空床期間1カ月での対応ができませんでした。

稼働率実績 共同生活援助定員13床、短期入所定員1床

令和5年度の稼働率は共同生活援助が93.1%、短期入所27.2%となっております。令和4年度の稼働率は共同生活援助が92.3%、短期入所が62.2%となっており、前年度対比では稼働率が共同生活援助では若干向上していますが、短期入所では下回っております。今年度目標である共同生活援助 95%、短期入 80%に対しては両事業共に下回る結果となっております。

稼働率が下回っている要因として、共同生活援助は前年度の3月から9月まで職員体制が整わず新規利用者の受け入れが出来なかったことが挙げられます。

短期入所は顧客確保のため法人内事業所との連携や実施機関に短期入所ご利用の広報を行いなしたが新規利用者獲得には至りませんでした。

- ・清瀬療護園との連携について

定期的に清瀬療護園短期担当者と双方の短期入所稼働や顧客待機状況等について共有を図っています。

12月・1月では清瀬療護園との連携の下、緊急依頼での短期入所（ミドルステイ）ご利用者の受け入れを行うことが出来ました。

### 【今後の課題】

- ・新規受入及び稼働率について

受け入れ態勢が整っておらず受け入れが進みませんでした。今後は退所後1カ月で新規利用者を受け入れられる態勢を整備していきます。又、今回実施した地域移行アンケートでのニーズや複数の相談支援事業や居宅介護事業所との連携基盤を構築し、入所希望の整理を行っていきます。

稼働率では短期入所については現状のリピート顧客が1名のため引き続き広報活動を行い顧客確保の取り組みを行っていきます。稼働率目標を達成するためには関係機関、法人内事業所との連携を今以上に図りつつ利用者のニーズの充足を基本としながらも目標達成を図れる利用実績づくりを意識しながら取り組みを行っていきます。

・清瀬療護園との連携について

引き続き清瀬療護園と連携強化を図り、短期入所ご利用者のニーズに応えられる基盤づくりを行い、顧客の確保及び稼働率の達成に取り組んでいきます。

### 3 申出のあった苦情の対応

申立月	苦情の内容	対応と結果
	無し	

### 4 発生した事故の内容

種別	件数	摘 要
重大事故	5件	怠薬・誤薬 5件 6月25日 昼食時に夕食薬を服薬させてしまった。 7月12日 食堂ソファ下にて錠剤が落ちており怠薬が発覚した。 9月12日 新規利用者受け入れ時に付き添い者との確認不足によりセットミスをしてしまい怠薬となった。 12月24日 食堂テーブル上に錠剤が落ちており怠薬が発覚した。 2月11日 ご利用者の衣類上に錠剤が落ちており怠薬が発覚した。

### 5 職員体制（令和6年3月31日）

職種	常勤職員	非常勤職員	合計（常勤換算）	法令配置数
所長	1		1	1
サビ管	1		1	1
介護職員	6	6	12 (8.6)	6.7
合計	8	6	14 (10.6)	8.7

### 6 研修の実施状況

#### 1) 施設内研修

研修名・テーマ	講師	参加職種	開催時期	延人員
虐待防止研修会（前期）	管理職	全職員	8月9月	13名
新人リフト研修	リフトインストラクター	介護職員	7月10月 3月	4名
虐待防止研修会（後期）	管理職	全職員	12月1月	11名
身体拘束適正化研修会（前期）	管理職	全職員	6月	13名
身体拘束適正化研修会（後期）	管理職	全職員	3月	12名

## 2) 施設外研修

研修名・テーマ	主催	参加職種	開催時期	延人員
理事長研修・法人理念、社会福祉施設について	理事長	介護職員	5月8月10月	3名
接遇マナー研修	法人	介護職員	8月	1名
サービス管理責任者基礎研修	東京都	管理職	8月	1名
オンライン労働セミナー	東京都	管理職 リーダー	8月	2名
障害者虐待防止・権利擁護研修	東京都	管理職	8月9月	1名
グループホーム従事者基礎研修	東京都	介護職員	9月10月	3名
福祉職のためのメンタルヘルス講習会	東社協	介護職員	10月	2名
リーダーシップ主任研修	法人	リーダー	10月	1名
新任職員の定着・育成入門研修	東社協	リーダー	12月	1名
福祉職場に求められるリーダーシップのあり方研修	東社協	介護職員	2月	1名

## 7 サービス単位ごとの年間利用者延べ総数

区分	利用者延べ数
共同生活援助（定員13名）	4,502
短期入所（定員2名）	101

## 8 行事の実施状況

実施月日	行事名	参加者			
		利用者	職員	その他	計
5月20日	BBQ企画	10名	10名		20名
8月22日	花火企画	8名	5名		13名
10月12日	BBQ企画	11名	6名		17名
12月24日	クリスマス企画	13名	5名		18名